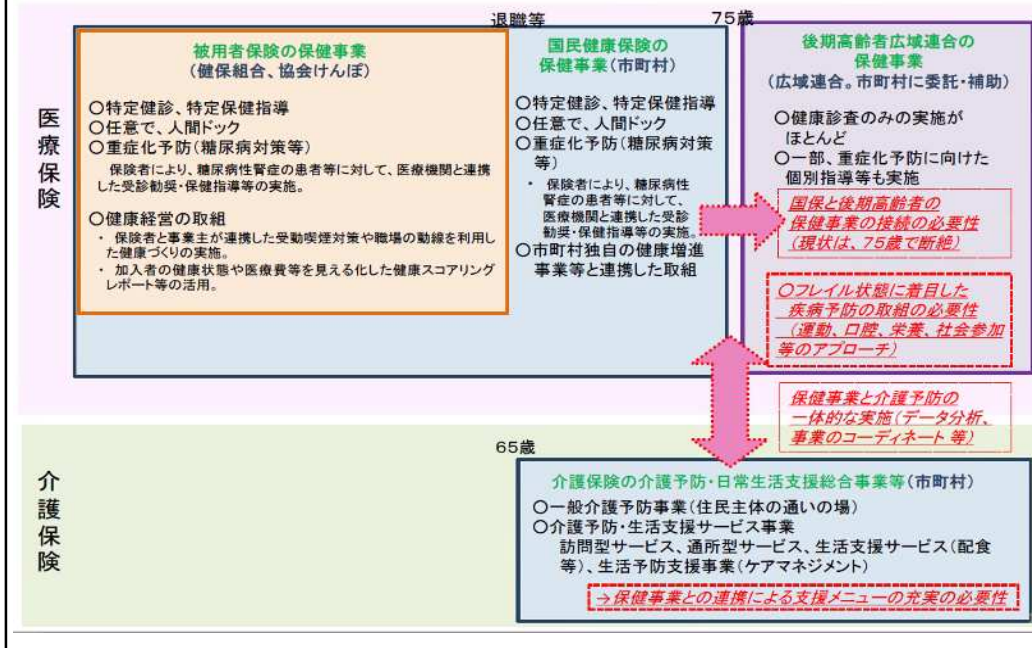


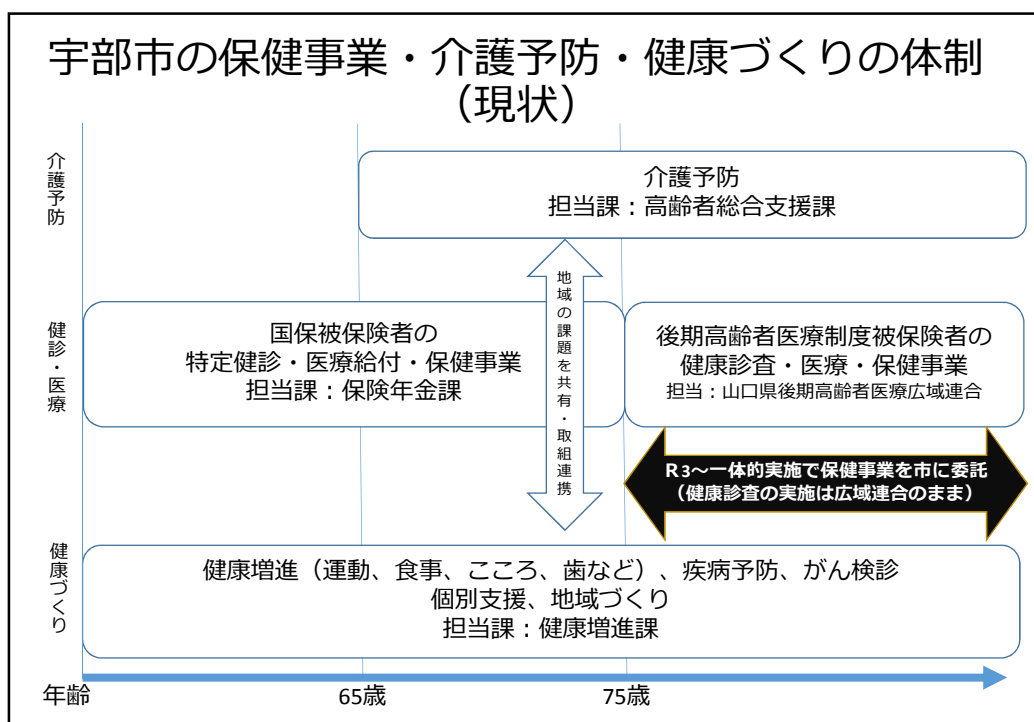
資料 3 - 1

高齢者の保健事業と介護予防の 一体的実施事業について

宇部市保険年金課

保健事業と介護予防の一体的実施の概要





保健事業と介護予防の一体的実施の特徴

- ① 国民健康保険と後期高齢者医療制度の保健事業を切れ目なく実施
- ② 健診、医療、介護のデータを一元化したK D B (国保データベースシステム) を活用した、保健事業・介護予防の取り組み
- ③ 市内の保健事業と介護予防を一体的に実施し、フレイルに着目した介護予防と高齢者の疾病の重症化予防を目指す

実施方法

◎ポピュレーションアプローチ（集団支援）

通いの場を基点とした疾病予防、介護予防事業を実施
医療専門職の積極的な介入

データ分析から対象地区、通いの場を選定

疾病予防、介護予防事業を実施

◎ハイリスクアプローチ（個別支援）

重複・頻回受診者への訪問指導

レセプト情報から対象者を選定

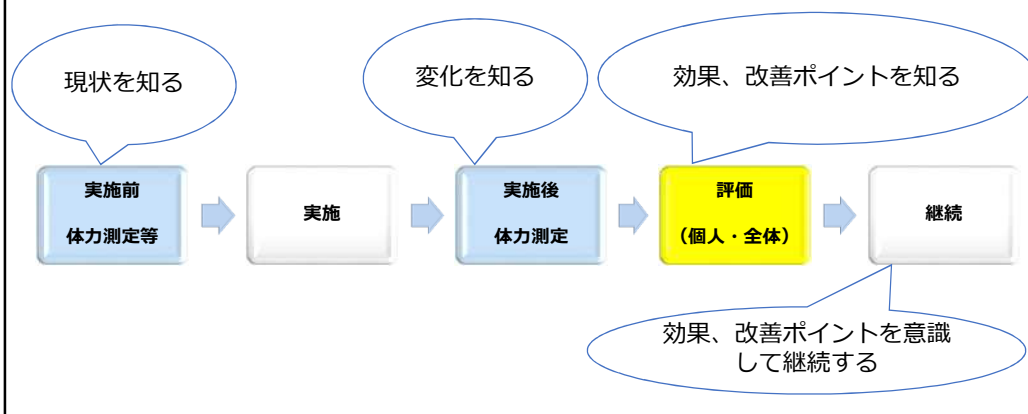
個別訪問し、保健指導を実施

◎ポピュレーションアプローチ（集団支援）

これまでの通いの場（サロン）の活動と異なる点（1）

《効果・検証》

- ・実施前後にエビデンスのある体力測定等を行い**評価**する
- ・評価を個人と通いの場全体でそれぞれ**見える化**し、参加者に効果を実感してもらい、その後のサロン活動に活かしてもらう

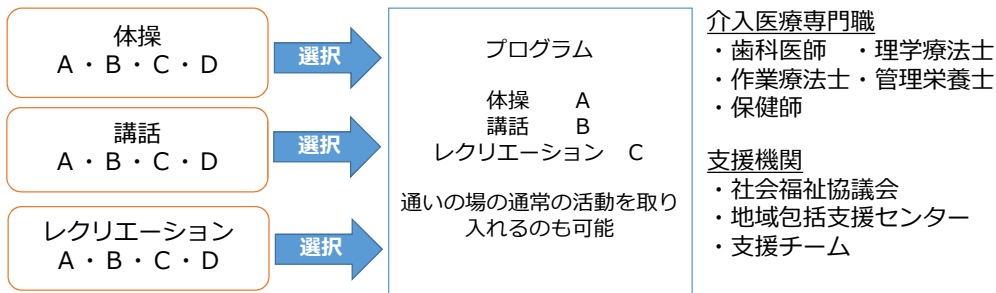


これまでの通いの場（サロン）の活動と異なる点（2）

《プログラム調整》

・市のコーディネーター保健師（保険年金課所属）がスケジュールの組み立て、講師調整を行う。

- ・フレイル予防をテーマに、通いの場の意向・自主性を尊重した内容とする。
- ・医療専門職が積極的に介入し、必要に応じて個別の相談支援も行う。
- ・プログラム終了後も、通いの場主体で健康づくりが継続できるような内容をプログラムに組み込み、継続支援を行う。



令和3年度の実績（ポピュレーション支援）

実施期間	令和3年10月～
実施箇所数	4地区6か所（西岐波・黒石・船木・二俣瀬） *11月～川上地区で2か所実施予定
参加者数（実数）	70名（川上地区2か所の人数は含まない）
平均年齢	79.9歳
開催頻度	2週間に1回 6回講座
内容	体力測定・講話（フレイル予防、運動、認知症、栄養、口腔） 体操・レクリエーション
関係機関・協力者	社会福祉協議会/地域包括支援センター/支援チーム 健康増進課/高齢者総合支援課/保険年金課/健幸アンバサダー

令和4年度の予定

ポピュレーション支援：市内全域で実施箇所数15か所

ハイリスク支援：重複・頻回受診者への訪問指導
糖尿病治療者への訪問指導